

2025年度 シラバス

| 講義名 | 方法 | 学年 | 学期 | 単位 | 担当教員 |
|----------|----|----|----|----|-------|
| 柔道整復学各論Ⅲ | 講義 | 2 | 前期 | 2 | 持永 光信 |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 上肢軟部組織損傷の発生機序、症状、固定法、後療法など基礎に基づいて学ぶ。 |
| 到達目標 | 上肢軟部組織損傷の発生機序から後療法までの基礎を学び、現場で使える知識を習得する。 |
| 成績評価 | 期末試験(学科試験)で評価する。 |
| 実務経験 | 整骨院及び整形外科での勤務を経て、5年間の女子ソフトボールチームの常勤トレーナーとなる。トレーナーとしての臨床症例を交えて知識と技術を伝える。 |

| 前期 | 講義内容 |
|----|---|
| 1 | 肩関節部の損傷(機能と解剖)、 肩関節の軟部組織損傷①(腱板損傷、上腕二頭筋長頭腱損傷) |
| 2 | 肩関節の軟部組織損傷②(ベネット損傷、SLAP損傷、肩峰下インピンジメント症候群) |
| 3 | 肩関節の軟部組織損傷③(リトルリーガー肩、動揺性肩関節、末梢神経障害、五十肩) |
| 4 | 上腕部の損傷(機能と解剖)、上腕部の軟部組織損傷(橈骨・尺骨神経損傷)、 肘関節の損傷(機能と解剖) |
| 5 | 肘関節の軟部組織損傷①(側副靭帯損傷、野球肘) |
| 6 | 肘関節の軟部組織損傷②(テニス肘、パンナー病、変形性肘関節症) |
| 7 | 前腕部の損傷(機能と解剖)、前腕部の軟部組織損傷①(前腕コンパートメント症候群) |
| 8 | 前腕部の軟部組織損傷②(腱交叉症候群、正中神経麻痺) |
| 9 | 前腕部の軟部組織損傷③(橈骨神経麻痺) |
| 10 | 前腕部の軟部組織損傷④(尺骨神経麻痺) |
| 11 | 手関節部の損傷(機能と解剖)、 手関節部の軟部組織損傷①(TFCC損傷、ド・ケルバン病) |
| 12 | 手関節部の軟部組織損傷②(末梢神経障害、キーンベック病、マーデルング変形) |
| 13 | 手部・指部の損傷(機能と解剖)、 手部・指部の軟部組織損傷①(腱・靭帯の損傷①) |
| 14 | 手部・指部の軟部組織損傷②(腱・靭帯の損傷②、手指部の変形疾患と変形) |
| 15 | 期末試験 |
| 16 | 解答解説 |

| | |
|------|----------------|
| 使用教材 | 柔道整復学・理論編(南江堂) |
|------|----------------|

2025年度 シラバス

| 講義名 | 方法 | 学年 | 学期 | 単位 | 担当教員 |
|----------|----|----|----|----|-------|
| 柔道整復学各論Ⅲ | 講義 | 2 | 中期 | 2 | 持永 光信 |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 下肢軟部組織損傷の発生機序、症状、固定法、後療法など基礎に基づいて学ぶ。 |
| 到達目標 | 下肢軟部組織損傷の発生機序から後療法までの基礎を学び、現場で使える知識を習得する。 |
| 成績評価 | 期末試験(学科試験)で評価する。 |
| 実務経験 | 整骨院及び整形外科での勤務を経て、5年間の女子ソフトボールチームの常勤トレーナーとなる。トレーナーとしての臨床症例を交えて知識と技術を伝える。 |

| 中期 | 講義内容 |
|----|---|
| 1 | 股関節部の損傷(解剖と機能)、 股関節の軟部組織損傷①(鼠径部痛症候群、股関節唇損傷) |
| 2 | 股関節の軟部組織損傷②(弾発股、梨状筋症候群、その他) 注意すべき疾患①(乳児期・思春期にみられる疾患) |
| 3 | 注意すべき疾患②(大腿骨頭壊死性、変形性股関節症) |
| 4 | 大腿部の損傷(解剖と機能)、大腿部の軟部組織損傷(大腿部打撲、大腿部の肉離れ)、 注意すべき疾患(大腿部骨化性筋炎) |
| 5 | 膝関節部の損傷(解剖と機能)、膝関節部の軟部組織損傷①(半月板損傷、靭帯損傷) |
| 6 | 膝関節部の軟部組織損傷②(発育期の膝関節障害、腸脛靭帯炎、鷲足炎) |
| 7 | 膝関節部の軟部組織損傷③(膝蓋大腿関節障害、膝周囲の関節包・滑液包の異常) |
| 8 | 膝関節部の軟部組織損傷④(神経の障害)、 注意すべき疾患(青壮年期・中高年にみられる疾患) |
| 9 | 下腿部の損傷(解剖と機能)、 下腿部の軟部組織損傷①(アキレス腱炎、アキレス腱周囲炎、アキレス腱断裂) |
| 10 | 下腿部の軟部組織損傷②(下腿三頭筋の肉離れ、下腿部のスポーツ障害)、 注意すべき疾患(コンパートメント症候群、下腿感染症、下腿骨腫瘍、下肢血管障害) |
| 11 | 足関節部の損傷(解剖と機能)、足関節部の軟部組織損傷①(足関節捻挫) |
| 12 | 足関節部の軟部組織損傷②(足関節捻挫の類症鑑別、注意すべき疾患) |
| 13 | 足・趾部の損傷(解剖と機能)、足根部の脱臼と軟部組織損傷 (横足根関節損傷、足根中足関節損傷、扁平足障害) |
| 14 | 足趾部の軟部組織損傷(中足部から後足部・前足部の有痛性疾患)、 注意すべき疾患 |
| 15 | 期末試験 |
| 16 | 解答解説 |

| | |
|------|----------------|
| 使用教材 | 柔道整復学・理論編(南江堂) |
|------|----------------|